

ワークショップ10 (ダイバーシティセッション)

「医師のキャリア支援と働き方改革」

司会 後藤田 卓志 (日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

塩谷 昭子 (川崎医科大学消化器内科)

ダイバーシティ推進委員会の企画として、本セッションでは医師のキャリア支援と働き方改革に関して討議したい。医師の働き方改革は2024年4月から本格始動する。かなり厳しい制限があり、苦慮している各施設もあると聞いている。応召義務のある医師においても、「24時間働けますか？」の時代は終わる。今後、work-life balanceの比重は各自で異なる、つまり各自が望む自己実現とキャリアアップを考え、管理者はそれを尊重しなくてはならないことになる。一方で、女性医師によって、出産や子育てによるキャリアの中断や途中離脱、復帰後の再就職先の問題が依然としてある。性別の差として仕方がないgender gapも複雑に絡む医師の“生き方”を理解することは、“活かし方”を考えるとという意味ではボールは管理者側にあるのかもしれない。10年後には医師不足ではなく「患者不足」という社会の構造変化も待ったなしでやってくる。老若男女を問わず現場や管理職の医師が抱える問題や課題や、その解決策について、具体的な取り組みやアイデアを募集したい。その上で、社会変革によってピンチをチャンスに変えることを目指してあらゆる立場から議論したい。